

健康・医療とメディア芸術

中野区 クリエイティブ祭 2024

参加
無料

2024年8月24日 土

申し込み不要
途中入退場自由

12:00 ~ 18:00 (12:00開場) 中野区役所 1階 イベントスペース「ナカノバ」
ミーティングスペース A

大人も子どもも、学生もファミリーもみんなで楽しめる、いつもと違う「健康」や「医療」の体験。
トークセッションや企画展、おもちゃの遊び場も！

メインステージ企画

中野区役所 1階ナカノバ

Talk Session

13:00-13:45 心も体も疲れている人へ「本当の休み方」

発売1カ月で3万部以上が売れた『心療内科医が教える本当の休み方』筆者で心療内科医の鈴木裕介氏が、「休んでも、疲れが取れない」と悩む人に、本当に心と体を回復させる休み方をお教えします。

14:00-15:15 ACP 講演 & 演劇
「人生の最期まで自分らしく生きる」とは

人生の最終段階の医療やケアについて、本人や家族、医療関係者が一緒に考えるACP（人生会議）。中野区で在宅医として診療する石井洋介氏と、歯科医師（医学博士）であり現代美術作家の長縄拓哉氏に、アートとの出会いやアートがもたらすケアの力についてお聞きします。

15:30-16:15 ケアとアートの交差点

中野区で2010年から開催しているオール・ブリュットイベント「NAKANO 街中まるごと美術館！」を手掛けるアートディレクターの小林瑞恵氏と、歯科医師（医学博士）であり現代美術作家の長縄拓哉氏に、アートとの出会いやアートがもたらすケアの力についてお聞きします。

16:30-17:15 中野区長×次世代「2060年のケアを語ろう」

酒井中野区長と次世代の介護業界を担うU35のプレイヤーが、介護における今の課題と未来の姿、そのために今から中野区でできることについて語り合います。

17:45-18:00 中野発！ ケアマネ音頭を踊ろう！

中野区の鷺宮エリアで活動するケアマネジャーを中心とした「鷺宮エリア介護ネットワーク」が考案・制作したオリジナルの盆踊り体験を踊ろう！

詳細は裏面をご覧ください

メイン会場

中野区役所 1階ナカノバ

Exhibition 展示

- 大腸がん啓発スマホゲームや子ども・若者の発達支援（療育）ボードゲーム
- 子育て×医療情報コーナー
- アール・ブリュット、医療×絵画展示
- 医療絵本、医療啓発漫画、登壇者書籍の紹介コーナー
- 乳がん検診啓発のYouTube紹介コーナー
- 大腸がん啓発クイズラリー

他にも盛りだくさん！

お絵描き菌図鑑



「菌」ってどんな姿をしている？想像し、絵を描いてみよう！手描きした菌が正面モニターで動く！オリジナル菌図鑑をつくろう。（提供：日本うんこ学会）

おもちゃ広場



乳幼児から楽しめるおもちゃ遊びがいっぱい！遊びながらメインステージも観覧可能です。（提供：NPO法人ゆるナカ）

中野区役所 1階ミーティングルーム A 「寿命が今日決まったら展」



寿命がガチャガチャで決まる。そんなの不謹慎だと思いますか？でも実際、人生の最期は突然やってくることもあるのです。そんなとき、家族や友人、身近な人といった大切な人にあるあなたの「大事」を伝えておくこと、最期の時間を少し前向きに過ごせたり、残された人の気持ちが軽くなるかもしれません。死に思いをはせることは、どう生きるかを考えることでもあります。本展は、大切な人と人生について対話するきっかけになる体験型企画展です。 #寿命が今日決まったら展

中野クリエイティブ祭の詳細はウェブをご覧ください

<http://nakacre.jp/>



【主催】日本うんこ学会（本イベントのお問合せ 2024@nakacre.jp）

【共催】株式会社 Chisey、株式会社 omniheal 【後援】中野区

協力：ヘルスケアコミュニティ「SHIP」、おうちの診療所、秋葉原内科 save クリニック、産業医科大学演劇部、社会福祉法人愛成会、ムソー株式会社、株式会社 Blanket、KAIGO LEADERS、株式会社想ひ人、ケアマネ音頭普及会、NPO 法人ゆるナカ、NPO 法人 MedicalPLAY、NPO 法人プレイブサークル運営委員会、一般社団法人 BC Tube、帝京平成大学「地域連携部」、明治大学映像イベントサークル「M→Fes」

メインステージ企画 Talk Session



8/24

13:00

13:45

心も体も疲れている人へ「本当の休み方」

発売1カ月で3万部以上が売れた『心療内科医が教える本当の休み方』筆者で心療内科医の鈴木裕介氏が、「休んでも、疲れが取れない」と悩む人に、本当に心と体を回復させる休み方をお教えます。



鈴木裕介さん(秋葉原内科 saveクリニック院長)

大学卒業後は、内科臨床の傍ら、高知県の医療広報、若手医療職のメンタルヘルス支援などに従事。医療コンサルタントを経て2018年に「セーブポイント(安心の拠点)」をコンセプトとした秋葉原内科saveクリニックを開業。トラウマケアを主体に心身を分けなない診療を心がける。研修医時代の近親者の自死を契機に、メンタルヘルスをライフワークとし、講演や書籍出版等も行う。主著は『我慢して生きるほど人生は長くない』『心療内科医が教える本当の休み方』『がんばることをやめられない』など、著者累計30万部。



著者累計
30万部

モデレーター

石井洋介さん(おうちの診療所 中野院長、株式会社 omniheal 代表取締役、日本うんこ学会会長、デジタルハリウッド大学院特任助教)

ACP 講演&演劇「人生の最期まで自分らしく生きる」とは

人生の最終段階の医療やケアについて、本人や家族、医療関係者が一緒に考える ACP(人生会議)。中野区で在宅医として診療する石井洋介氏による講演と、産業医科大学演劇部による公演で「なぜ ACP が自分らしい人生を送るために重要と言われるのか、そもそも自分らしい人生とは何なのか」をお伝えします。

【講演】

石井洋介さん(おうちの診療所 中野院長、株式会社 omniheal 代表取締役、日本うんこ学会会長、デジタルハリウッド大学院特任助教)



自身が難病で大腸を失ったことをきっかけに医師を志す。消化器外科医として手術をこなす中で、大腸がんなどの知識普及を目的としたスマホゲーム「うんコレ」を開発・監修、「日本うんこ学会」設立。クリエイティブな手法を利用した行動変容理論に関心を持ち、デジタルハリウッド大学大学院でデジタルコンテンツマネジメント修士を取得。厚生労働省医系技官などを経て、現在は在宅医療診療所をグループ展開している。主著は『19歳で人工肛門、偏差値30の僕が医師になって考えたこと』『便を見る力』など。



【公演】産業医科大学演劇部

2002年設立。創部以来、毎年の定期公演に加えて地域の公立劇場が主催する事業への参加や地域の劇団への加入など、学外でも積極的な活動を行う。
X (旧 Twitter)・Instagram: @uoeh_EP

14:00

15:15

ケアとアートの交差点

中野区で2010年から開催しているオール・ブリュットイベント「NAKANO 街中まるごと美術館!」を手掛けるアートディレクターの小林瑞恵氏と、歯科医師(医学博士)であり現代美術作家の長縄拓哉氏に、アートとの出会いやアートがもたらすケアの力についてお聞きします。



小林瑞恵さん(社会福祉法人愛成会 副理事長、アートディレクター、キュレーター)

オール・ブリュット関連の展覧会を国内外で数多く手がける。パリ東京文化タナダム2018「Art Brut Japonais II」展などの日本側キュレーター。著書に『オール・ブリュット 沸き上がる衝動の芸術』など。



長縄拓哉さん(ムツ株式会社代表取締役)

1982年愛知県生まれ。歯科医師(医学博士)であり現代美術作家。現代美術の特性を応用し、医療や健康に無関心な人々や小児のヘルスリテラシーを向上させ疾病予防を目指す。近年の個展に、「アートが痛みを減らす展!」(2021年)、「にゃんこリーダーとヘルスリテラシー展」(2022年)などがある。



モデレーター 増谷彩さん(株式会社 omniheal、おうちの診療所広報、医療ライター)

株式会社日経 BP にて医師向け雑誌の記者・編集者を経て2020年より現職。医療×クリエイティブの株式会社 omniheal に所属し、診療所の広報とフリーランスの医療ライター・編集者を兼ねる。日経 Beyond health「100年後をつくるケアと社会」連載中。

15:30

16:15

中野区長×次世代「2060年のケアを語ろう」

酒井中野区長と次世代の介護業界を担う U35 のプレイヤーが、介護における今の課題と未来の姿、そのために今から中野区でできることについて語り合います。



酒井直人さん(中野区長)

1996年から中野区に勤務。広報担当副参事、地域包括ケア推進担当副参事を歴任し2018年に退職。同年に中野区長に就任し現在2期目。区民の満足度向上を目的とした「おもてなし運動」で組織風土を変えようと9年間率先して取り組み、職員勉強会を立ち上げて8年間毎月開催。



金子萌さん(株式会社想ひ人代表取締役)

44歳で若年性のパーキンソン病と認知症を発症した父を17歳から12年以上自宅で介護中。外資系メーカー勤務後、自身の介護経験から「在宅介護者(ケアラー)のケア」事業で2022年に起業。「介護に驚きと希望を」をビジョンに、介護や終活サポート事業・自治体や企業でのセミナー事業を行う。



秋本可愛さん(株式会社 Blanket 代表取締役/KAIGO LEADERS 発起人)

2013年、大学卒業と同時に株式会社 Blanket を設立。介護・福祉事業者に特化した採用・育成支援事業「KAIGO HR」や、介護のコミュニティ「KAIGO LEADERS」を運営。自治体と連携した介護の仕事の啓発活動も行う。Forbes JAPAN2024年6月号「NEXT100 100 通りの世界を救う希望」選出。



モデレーター 村松圭司さん(産業医科大学 公衆衛生学教室 准教授)

2012年より産業医科大学公衆衛生学スタッフとして、医療ビッグデータを用いた研究や医療提供体制の再構築に関するデータに基づいた政策提言に携わる。2016年厚生労働省に意向、国の保有する介護データの第三者提供制度創設に従事。2018年産業医科大学後援、2019年より現職。

16:30

17:15

中野発! ケアマネ音頭を踊ろう!

【出演】ケアマネ音頭普及会

ケアマネ音頭は、中野区の鶴宮エリアで活動するケアマネジャーを中心とした「鶴宮エリア介護ネットワーク」が考案・制作したオリジナルの盆踊り体験。2020年、「音健アワード」で優秀賞受賞。ケアマネ音頭普及会では、高齢者が集う場所やイベントステージでのケアマネ音頭の披露などを行う。



17:45

18:00

健康
・
医療
と
メ
デ
ィ
ア
芸
術